令和6年２月27日
（2024年）

保護者の皆さま

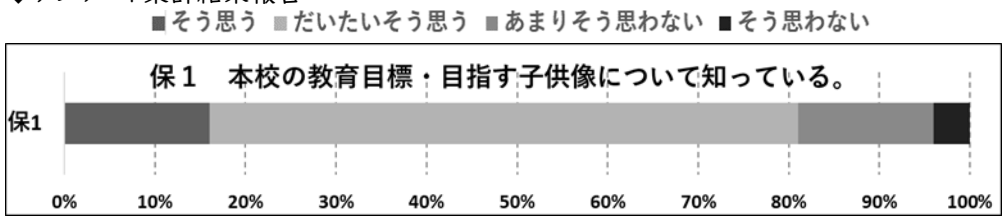
吹田市立佐竹台小学校
校　長　　西　岡　　孝

令和5年度「学校教育アンケート」結果報告

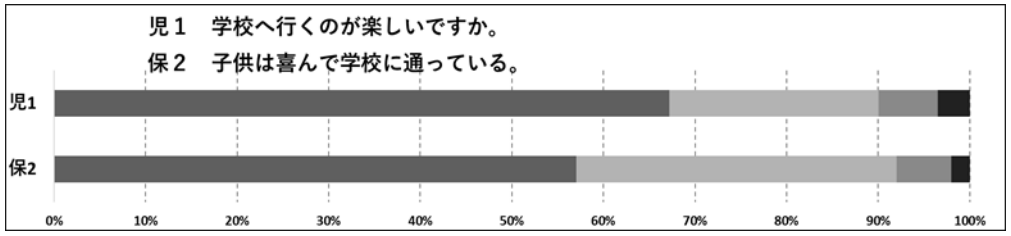
余寒の候、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申しあげます。また、日頃は本校学校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、昨年 12 月に実施いたしました学校教育アンケートに多くの回答をいただき、貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力ありがとうございました。いただいたご意見は学校全体で考察を加え、本校の取り組みの成果と課題を検証するとともに、次年度に向けてのさらなる改善のために活用させていただきます。以下に集計・分析結果をお伝えします。

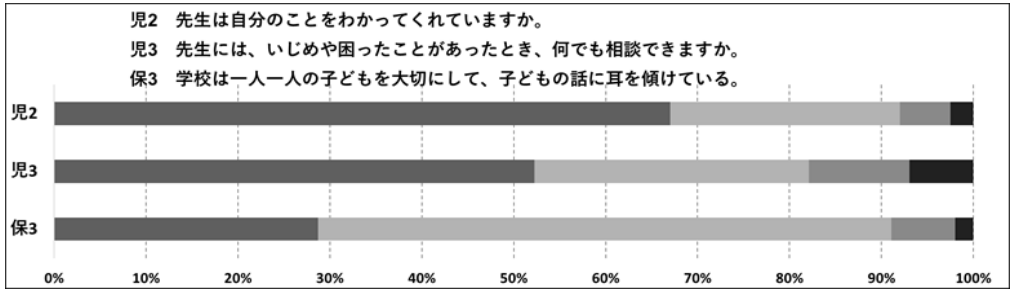
◆アンケート集計結果報告



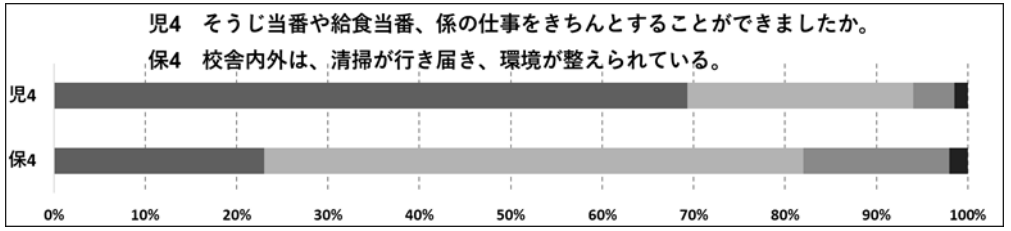
教育目標やめざす子ども像について、約8割以上の保護者の皆さまの理解を得ました。さらに多くの皆さまにご理解いただけるように、教育活動と教育目標のつながりを学校だより等で示すとともに、今後も実現に向けて、さらなる努力を重ねてまいります。



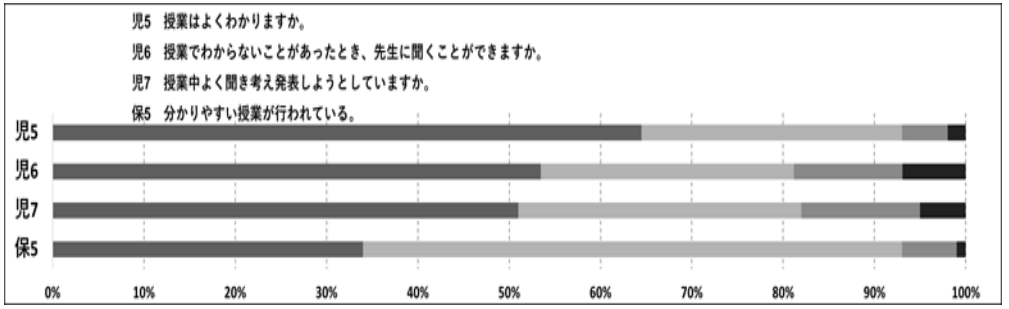
約9割の児童が「学校へ行くのが楽しい」と回答し、9割以上の保護者の皆さまから「喜んで通っている」と回答いただきました。学校行事や児童会行事、地域行事がコロナ前に戻り、児童が「楽しい」と感じられることが増えました。今後も、「より楽しい」と思える学校を目指していきます。



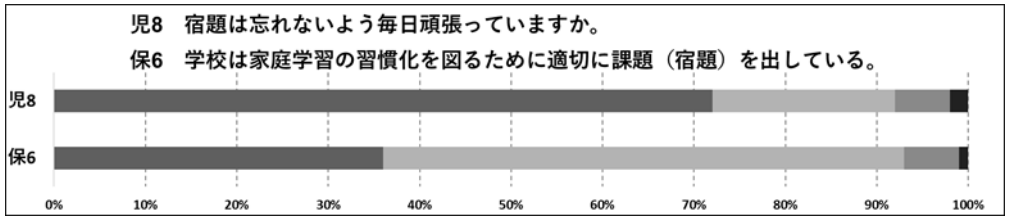
9割以上の児童が「自分のことをわかってくれている」と感じており、「相談できる」と回答していました。一方で、相談がしにくいと感じている児童もいるため、生活アンケート後や日々のデイケンのフラッグ（相談希望がある）をあげた児童の聞き取りなども行います。児童一人一人を大切にした学級経営を心がけ、学校全体として推進していきます。また保護者と連携をして、誰もが安心できるよう、子どもの心に寄り添う指導を目指していきます。



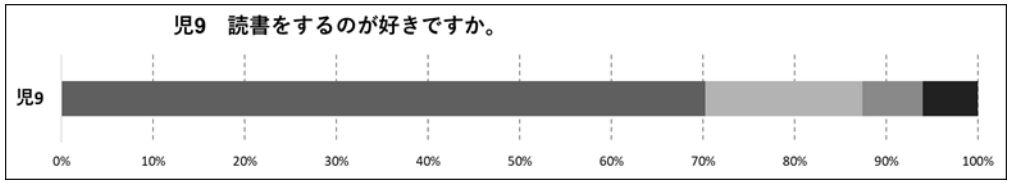
アンケートの記述においても「掃除について」のご意見が寄せられました。「掃除や係の仕事をきちんとしている」と、9割以上の児童が肯定的に回答し、昨年度と比較しても大きな変化はありませんでした。引き続き教員が掃除の担当場所を見守り、一緒に児童と掃除を行うことで、当番の児童と共に過ごしやすくきれいな学校を目指していきます。今後も、よりよい環境づくりを目指し、清掃道具の整備や清掃方法について改善に努めてまいります。



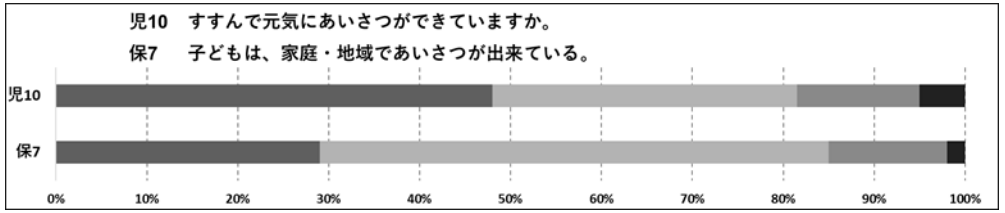
9割以上の児童は「授業はよくわかる」と回答しており、「質問できる」と肯定的な回答をした児童も8割以上となりました。本校では「子どもが考えたい、伝えたいと思える授業づくり」をテーマに算数科を中心とした授業研究を進めています。今後も授業に児童の興味関心を引きつけ、また児童から考えたい、伝えたいと思えるように問いを生み出す授業作りを進めてまいります。



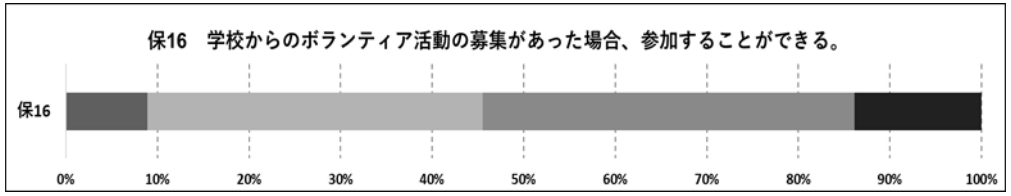
宿題に関して9割以上の児童がしなければならないこととして捉え、きちんと取り組もうとすることがわかります。また、9割以上の保護者の皆さまからも、「適切」と回答いただきました。今後も、児童が理解を深めて学習習慣も身に付けるために、SUNネット端末の課題も含めた家庭学習について検討していきます。また、宿題をして終わりではなく、誤答を正すなど、「わからないまま」で終わらないように指導していきます。



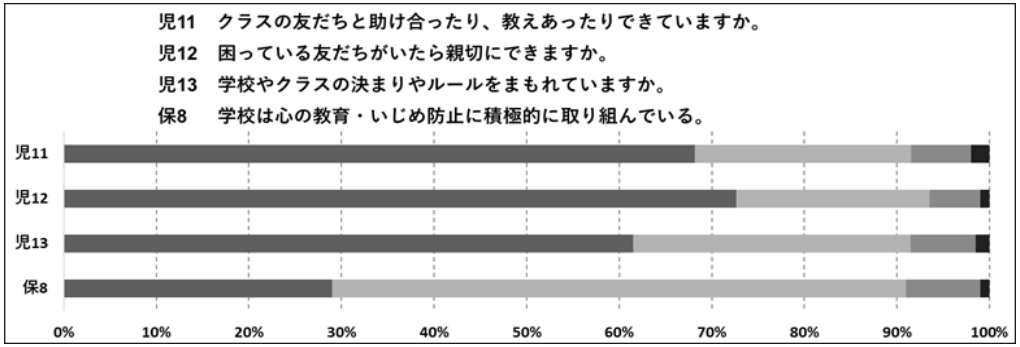
昨年同様、「読書をするのが好き」と答えた児童が9割近い数値を示し、読書をする習慣が身についているように感じられます。今後も電子版の市内図書館利用や、保護者ボランティアによる読み聞かせなど、本に触れる機会を増やしてまいります。



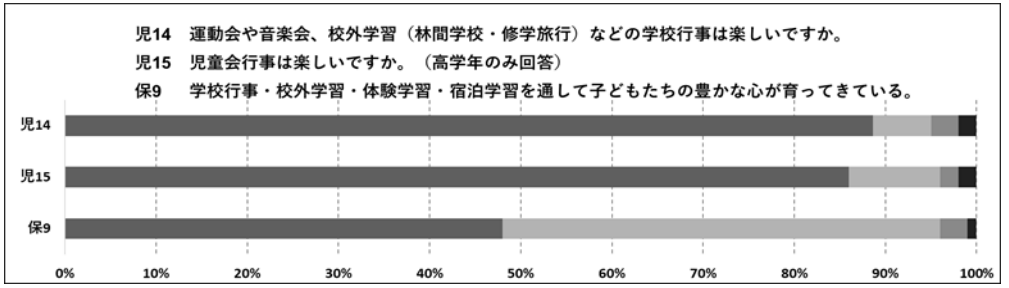
登下校時のあいさつに関して、8 割以上の児童が元気よくあいさつできています。
児童会の児童による朝のあいさつ運動や高野台中学校の生徒とのあいさつ運動も機会に「あいさつ名人」になれるよう指導をしていきます。



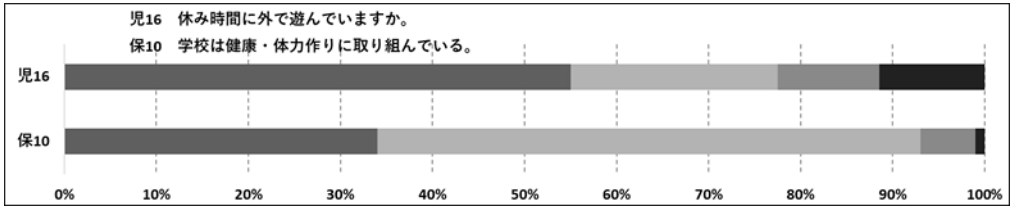
昨年度と同様、半数近くの保護者がボランティアにご協力いただける結果となり、非常に嬉しく思います。今年度は、PTA 本部から PTA 行事や学校行事へのボランティアを募り、たくさんのご協力をいただきました。また昨年度に引き続き園芸と読書ボランティアにも参加をしていただきました。ありがとうございました。次年度も、行事やよりよい学校環境づくりのためにご支援とご協力をお願いします。



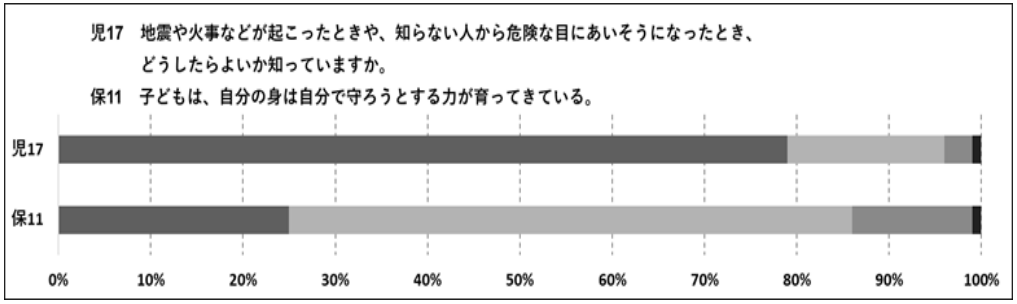
9割以上の児童が「友だちと助け合ったり、困っている友だちに対して親切にしたりできる」と回答しています。心の教育・いじめ防止については、いじめ予防授業やインクルーシブ教育を全学年で取り組んでいます。保護者の皆さまの回答も、肯定的な回答が9割を上回りました。学校が安心して学びあえる場となるよう、引き続き心の教育にも取り組んでいきます。また、いじめに対しては、未然防止、早期発見、早期対応により一層の努力を行ってまいります。



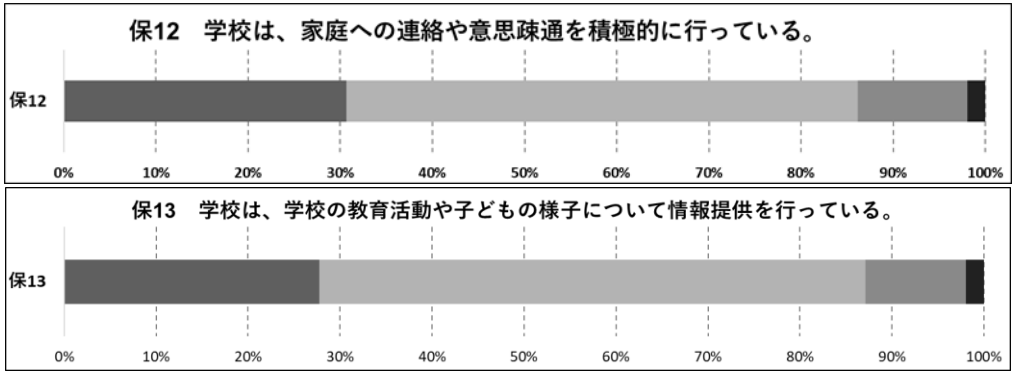
児童からも保護者の皆さまからも 9 割以上の肯定的な回答をいただいています。また、今年度はコロナ禍前に行っていた児童会行事、「遊ぼう会」「きょうだい学年交流」なども再開しました。児童主体の行事は意義あるものだといえます。今後も、児童とともに主体的に活動できるよう児童会行事を考えていきます。



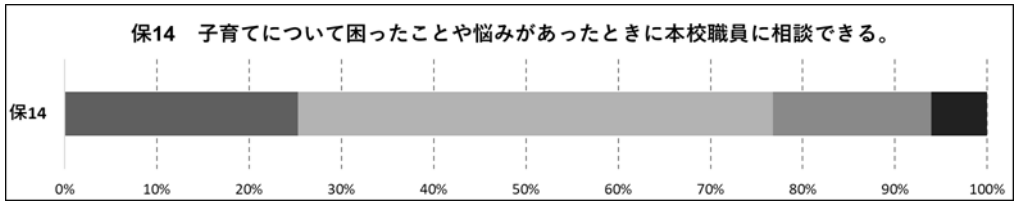
9割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。
昨年度に引き続きアンケート後も体を動かすきっかけとして児童会の「おおなわ大会」「わくわくタイム」や「マラソン記録会」「マラソン参観」などの学校行事を実施しました。
次年度も、健康や体力づくりに関わる運動に取り組めるよう計画・実施してまいります。



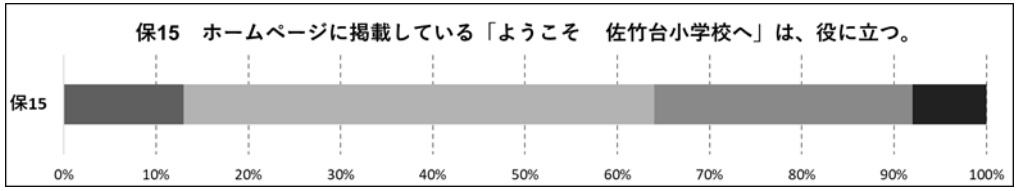
8割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。今年度も昨年度に引き続き、集団下校や引き渡し訓練等の避難訓練も実施し、どのように身を守るのかについて考えることができました。さらに児童の安全を守れるよう努めてまいります。今後もマニュアルなどの見直しを継続し、いざというときには「自分の身を自分で守れる力」を育んでいきます。



9割近くの保護者の皆さまから「意思疎通を積極的に行っている」と回答いただいています。さらに積極的に保護者の皆さまのご意見に耳を傾け、信頼関係を築きながら、互いに連携して児童の指導育成をしてまいります。またメール等も活用し、必要な情報をより早く、より正確に、皆さまの元に届けられるよう、工夫、改善を行ってまいります。



8割近くの保護者の皆さまから肯定的な評価をいただいており、より気軽にご相談していただけるよう、連絡を密にしていきます。また、ご相談内容によっては、担任一人で対応するのではなく、学年や学校全体で共有し組織として対応してまいります。



「ようこそ 佐竹台小学校へ」は、学校生活についての資料として作成しています。
佐竹台小学校のホームページからご覧いただけますので、今後ご活用ください。

《記述によるご意見・ご質問に対して》

◆ 音楽会の写真撮影について

お子さんの演奏の写真撮影は、個人情報保護の観点から、個人の撮影は控えていただいています。学校が手配したカメラマンが後日の写真の提供を行いますので、そちらをご利用いただければと思います。

◆ 学校のお手紙をメール配信することについて

保護者の皆さまのお手紙は配付ではなくメールで配信することについてご意見をいただいております。今後はさくら連絡網でのメールの配信も検討しております。

◆ 夏休みプールの中止メールについて

児童の安全を第一に考え、プール指導の中止に関する判断を行っております。気温の急激な上昇により、当日の中止の判断となることがありますが、これは児童が最適な環境で楽しく学ぶことを目的としているからです。また気温の面からも安全を考え、気温が上がらない午前中の早い時間の指導などの工夫を検討しております。

保護者の皆さまのご意見やご質問は、非常に貴重なものであり、全てを大切に受け止めております。今後も、学校と保護者の皆さまとのコミュニケーションを大切にし、より良い学校環境を築いていくための努力を続けてまいります。

何かご質問やご不明点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。今後とも、どうぞよろしくお願い申しあげます。